

多店舗（飲食店ホテル小売）運営で、現在POSレジや
店舗で経費精算されている方（経理部）向け

T-check Receipt invoice

「店舗は、領収書の写真をとるだけ」で、
経費精算～インボイス対応(仕入税額控除)～電子帳簿保存までまるごと解決！！
領収書の本社郵送代金(一般書留)の大幅コストカットに、領収書紛失課題もあわせて解決！

インボイス・電子帳簿導入による経費精算の対応策は万全ですか？



詳細はこちら

スキャナでの一括取込OK



11:12 85

領収書

¥56,789

解像度：4032×3024 ...24bit
撮影日：2023/01/17 13:12:40
電子帳簿保存の要件を満たしています

再撮影

取引日 2023/01/23

摘要 飲食代として

支払金額 56789

税率 10% 税区分 内税

1

スマホAI-OCRで
領収書電子化

2

経費精算業務を
クラウド化

3

領収書のインボイス
自動チェック

4

会計システムへ
データ連携

※AI-OCRが二重申請を不正防止

※OCR結果より申請データを作成

※相手先のT番号も自動チェック

※会計、ワークフローなど

経費精算時の領収書も、自動でインボイス事業者チェックできます！

2023年10月からインボイス制度が始まると、受け取った領収書ごとに相手先の
チェックが必要になります。「課税事業者(インボイス未登録 or 登録済)」「免税事業者」の仕分け

毎月の数百・数千枚の領収書のチェック作業を1枚ずつ目視で行うことはできますか？

“T-check Receipt invoice”なら簡単に自動化可能です！ 詳細は裏面へ→

スマホ領収書電子化アプリ - 活用事例

※カスタマイズによる
機能追加も可能です

1. 領収書の電子化・集計

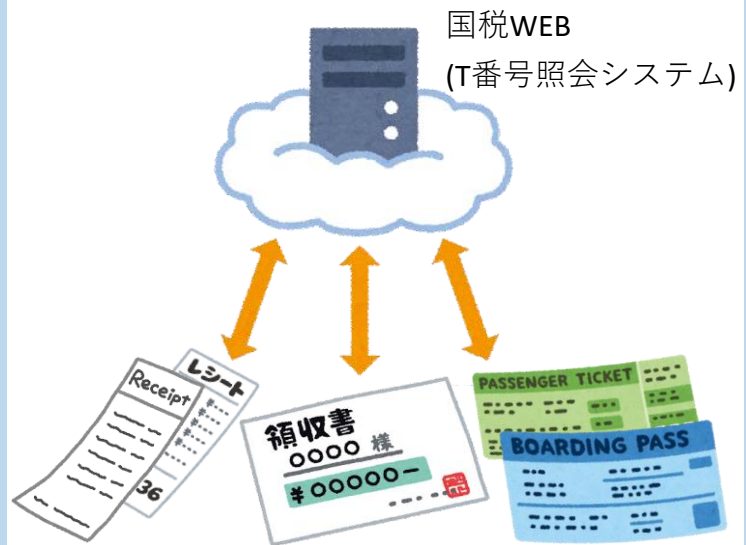


領収書をまとめて
受領するため、
記帳やパンチ作業が
月末月初や決算月に
集中する。。

スマホで簡単電子化！
事務所での、スキャナ―
一括取込みにも対応可。
高精度OCRで誰でも簡単
テキスト化



2. インボイス制度・電子帳簿保存へ対応



AI-OCR処理した領収書から相手先情報を取得。
国税サイトに登録されたT番号を自動でチェック。
仕入税額控除（課税事業者か免税事業者か）対象
を自動で判別します！

3. 乗換案内 / 交通費自動計算

アプリ内の交通費精算登録で出発駅と到着駅
を入力すれば、運賃を自動で表示されます。
定期区間を事前登録しておけば、定期区間を
除いた運賃を自動計算し表示されます。

4. 導入企業様 一例

